

日本における健康格差と「健康の社会的決定要因」

— 社会疫学研究の到達点と課題 —

WHO(世界保健機関)が「健康の社会的決定要因(Social Determinants of Health, SDH)」を踏まえた政策と研究の推進を総会で決議した2009年に、日本福祉大学は、SDHの研究拠点として健康社会研究センターを開設しました。その開設記念シンポジウムで「社会疫学の可能性」を論議してから、早くも5年が経過しようとしています。

この間に、日本における健康格差の実態を縦断研究で解明し、歯・口腔の健康と転倒や認知症の関連、ソーシャル・キャピタルの介護予防効果などを検証してきました。さらに社会環境レベルの要因と要介護リスクとの関連の検証を進めるために、2010年度からは全国31自治体11万人にご協力いただいたJAGES(Japan Gerontological Evaluation Study、日本

老年学的評価研究)プロジェクトを展開し、そのデータを活用した地域診断指標の開発、web上でそれらを閲覧できる「介護予防政策サポートサイト」の開設などの成果をあげ、WHO神戸センターとの共同研究にも取り組んできました。その中には、厚生労働科学研究費補助金を受けた「介護予防政策の見直し」に寄与する研究や「健康格差の縮小」を掲げた「健康日本21(第二次)」の資料に引用される研究成果も含まれています。

本シンポジウムでは、研究協定を締結しているハーバード大学公衆衛生大学院Department of Social and Behavioral Sciencesから、社会疫学の世界的第一人者Kawachi教授をお招きし、この5年間の世界と日本における社会疫学の到達点と課題を探ります。

日時 2013/ **12/8** [日] 10:30 - 16:00

場所 **名古屋国際会議場 会議室141・142**

プログラム

*本センターHPよりお申し込みください

10:10	開場
10:30 - 10:40	開会あいさつ
10:40 - 12:10	記念講演「健康の社会的決定要因—社会疫学研究の到達点と課題(仮題)」 Prof. Kawachi Ichiro(ハーバード大学公衆衛生大学院)
12:10 - 13:10	昼休憩
13:10 - 14:40	シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学研究の到達点と課題」 ◇「センター開設後の展開」 近藤克則(日本福祉大学 健康社会研究センター長) ◇「AGES(愛知老年学的評価研究)プロジェクト縦断研究の到達点」 斉藤雅茂(日本福祉大学 社会福祉学部 准教授) ◇「ソーシャル・キャピタル研究の到達点」 相田潤(東北大学大学院 歯学研究科 准教授) ◇「JAGESプロジェクトの到達点」 尾島俊之(浜松医科大学 健康社会医学講座 教授) ◇「JAGES HEART(Health Equity Assessment and Response Tool)による『見える化』の到達点」 近藤尚己(東京大学大学院 医学系研究科 准教授)
14:40 - 15:00	休憩
15:00 - 15:50	総合討論 指定発言「日本における社会疫学研究への評価と今後の課題」Prof. Kawachi Ichiro
15:50 - 16:00	閉会あいさつ(近藤克則)
16:00	閉会 ※報告タイトルが変更になる場合がありますので、ご了承ください。
16:30 - 18:00	懇親会(会場：7階展望レストラン「パステル」、会費：5,000円/人) ※事前登録制



Center for Well-being and Society

日本福祉大学 健康社会研究センター
http://cws.umin.jp

▶お問合せ先 日本福祉大学健康社会研究センター
TEL: 052-242-3074 FAX: 052-242-3076
E-mail: cwsinfo@googlegroups.com